

## ATWS2021 北海道実行委員会 第4回総会 議事録

- 1 日 時：令和3年(2021年)9月6日(月)15:00～15:20
- 2 開催方法：Zoomにより開催
- 3 議 事
  - (1) ATWS2021 バーチャル北海道／日本の開催内容について
  - (2) 実行委員会規約の改正について
  - (3) 今後の取組について
- 4 要 旨

### (道／山崎観光振興監)

- ・ただ今から、令和3年度第4回 ATWS 北海道実行委員会総会を開催いたします。本日はお忙しい中、出席いただき誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます北海道観光振興監の山崎です。よろしくお願いたします。
- ・本日の総会でございますが、委員20名中、1名の書面参加を含め、全20名のご出席をいただいておりますことを報告いたします。
- ・それでは、開会にあたりまして、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021北海道実行委員会の会長であります、北海道知事の鈴木よりご挨拶申し上げます。

### (道／鈴木知事)

- ・北海道知事の鈴木でございます。本日は大変お忙しい中、皆様にはお時間をいただきまして心から感謝申し上げます。また、現在緊急事態宣言が出ています。新型コロナウイルス感染症への対策につきまして、ご出席いただいている皆様にご理解ご協力を賜っておりますことも、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
- ・アジア初の開催となりますアドベンチャートラベル・ワールドサミット。いよいよ、20日から北海道を舞台に開催されます。委員の皆様はもとより、これまで開催にご尽力をいただいた全ての関係の方々に対しまして、この場をお借りして、改めて皆様へ感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。
- ・今回のサミットでございますけれども、アジア初の開催という状況でございますけれども、ウィズコロナ社会の新しい形といたしまして、バーチャルでの開催、こちらも初という形になりますが、開催となりました。北海道の観光にとって、その意義と重要性は、バーチャルということになりましたけれども、変わらないと考えています。
- ・オンラインでの初めての開催でございますが、オンラインのメリットを活かして、より多くの皆様にご参加をいただいて、世界中の皆様へ北海道を紹介することができる、このことをとても楽しみにしているところでございます。
- ・サミットの期間中は、バーチャルジャパンアドベンチャーといたしまして、本道を含む日本各地のアドベンチャートラベル、このコースをはじめとして、開催地であります札幌市、そして、ポストサミットアドベンチャーを予定しておりました釧路市の魅力を毎日ご紹介いたします。皆様のお力を結集して、北海道の魅力を世界中で紹介する。このことをしっかり取り組んでいきたいと思っております。
- ・一方で、世界中の方々をお招きすることができなかったということについては、やはり、大変残念であります。関係の皆様からも同様の声を多数いただいているところでございます。今後、アドベンチャートラベルが本道観光を牽引する代表的なツーリズムの一つとして確立をしていくそのためにも、やはり、世界中の関係者の皆様へ、北海道にお越しいただき、

そして北海道の魅力に直接触れていただく。このことによって、今回のサミットを通じて、広く世界中に蒔いた種を確実に芽吹かせ、大きな果実とするという戦略が非常に重要であると、私は考えています。

- そこで、本日の総会でありますけれども、最速で2023年となるアドベンチャートラベル・ワールドサミットの再招致、これに向けて正式な立候補の表明について、皆さんにお諮りしたいと考えてございます。
- 本日は限られた時間でありまして、この点についても忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、皆様にはよろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

### (道／山崎観光振興監)

- それでは議事に入らせていただきます。議題1「ATWS2021 バーチャル北海道／日本の開催内容」、議題2「実行委員会規約の改正」、議題3「今後の取組について」、実行委員会事務局長を務めております、北海道経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長の中島より、資料に基づき一括してご説明させていただきます。

### (道／中島アドベンチャートラベル担当局長)

- それでは事務局から説明いたします。まず、議題1に関連しまして、資料1『「ATWS2021 北海道／日本」実施概要』をご覧ください。
- このサミットは、アドベンチャートラベル・トレードアソシエーション (ATTA) の主催によりまして、欧米豪を中心とした旅行会社、メディアなど、約800名の事業者が参加予定となっております。
- 開催期間は9月20日から9月24日まで、北米、欧州、日本の時差を考慮しまして、再放送を行いながら5日間に渡り開催されます。
- 今回のサミットは「Eventtia」というバーチャルイベントプラットフォームを利用しまして実施することとなっております。国土交通大臣、北海道知事によるご挨拶、それから、日本のアドベンチャーコースの紹介、各種講演、分科会や商談会及び北海道の魅力を紹介する北海道アドベンチャーを、収録済みのものとLIVE配信による映像を併用して発信いたします。
- 続きまして、議題2に関連しまして、資料2「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021 北海道実行委員会規約 新旧対照表」をご覧ください。
- 最速で2023年にATWSを再招致し、北海道におけるリアル開催の実施に向けた準備を進めていくため、資料のとおり実行委員会の規約の改正をご承認いただきたいと考えております。
- 具体的には第1条につきまして、実行委員会の名称に含まれる2021の文言を削除しまして、来年度以降の北海道開催に向けた取組が可能となるようにいたします。
- また、第2条につきまして、第1条と同様の趣旨で、実行委員会の目的について改正したいと考えております。
- 続きまして、議題3「今後の取組について」ご説明申し上げます。こちらについてはペーパーの資料は特にご用意してございませんが、先ほど、会長の鈴木知事からもございましたとおり、まず、次年度以降のATWSリアル開催を目指しまして、最速で2023年の再招致に向けて、取り組むことにつきまして、本日の総会で皆様のご承認をいただければ、正式に立候補を表明する場としたいと考えてございます。
- 最後に、参考資料をご覧ください。総会終了後の動きといたしましては、ATWSの内定に必要な契約及び関連する手続きがあれば、先の総会でご承認いただいた今年度予算の内、「3 その他(1)主催者との調整にかかる費用」の中から、事務局におきまして適正に手続

及び支出をしてまいりたいと考えてございます。

- ・事務局からの説明は以上でございます

### (道／山崎観光振興監)

- ・ただ今説明いたしました資料の内容につきましては、8月31日に開催いたしました実行委員会幹事会においてご承認をいただいているところでございます。委員の皆様、特に議題3「今後の取組について」の部分で、立候補の表明について、何かご発言ございますでしょうか。
- ・札幌市長、秋元様、いかがでしょうか

### (札幌市／秋元市長)

- ・ありがとうございます。札幌市長の秋元でございます。ATWS2021のバーチャル北海道／日本の開催に向けて、委員の皆様、関係する皆様の多大なるご尽力をいただきましたことを、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。
- ・皆様のご尽力のおかげで、アドベンチャートラベル北海道は、一層磨きがかかって、北海道ならではの魅力の発信ということにつながっていくのではないかと期待をしているところであります。
- ・今回のサミット開催に際して、札幌市内や札幌近郊でも多くのツアーが造成されるということがございました。札幌においてもですね、自然と都市の両方の魅力を併せ持つ北海道のアドベンチャートラベルの拠点として、世界の方々に知っていただく大きなチャンスになるものと認識しているところであります。
- ・今回は、ウィズコロナ時代ですね、新しい手法としてバーチャル開催ということになりましたけれども、このサミットを通じて北海道の魅力を世界に発信していけるよう、皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。
- ・冒頭、鈴木知事からのご挨拶にもありましたように、やはり今回のサミットの成功というものを足掛かりとして実際にですね、北海道に足を運んでいただく、多くの関係者の皆様に北海道の魅力を直に感じていただくことが大変重要だと思っております。そういう意味では、今後ともこの活動を続けて、最速で2023年でしょうか、この再誘致ということに向けてですね、札幌市といたしましても、皆様と一緒に頑張って取り組んでいければ考えているところであります。そういう意味では、是非再招致に向けて動きを続けていきたいと思っております。以上です。

### (道／山崎観光振興監)

- ・秋元様、ありがとうございました。
- ・釧路市長の蝦名様、いかがでしょうか。

### (釧路市／蝦名市長)

- ・釧路市長の蝦名でございます。改めて、私からもですね、バーチャル開催となりましたけど、今回のATWS、本当にご尽力いただきました。引き続き、知事はじめですね、皆様に本当に感謝申し上げます。
- ・今、知事からですね、最速2023年の再度の再招致、ATWSリアル開催、大変ですね、嬉しく思っているところであります。是非、私どもも一体となってですね、ここに向けて進めていければ、とこのように考えている次第であります。
- ・北海道全体がですね、アドベンチャートラベルの聖地としていく、ということだと思います。私どもも、阿寒湖畔からスタートしたものであります。ATTAシャノン会長がですね、何度もこ

の阿寒に来ていただき、こういった中で、阿寒を聖地に、そして釧路をそして、私どもはやはり東北海道全体を、このような形の中でメッカとしていけるような、こういった新たな展開を目指す、そんな思いの中で取り組んでいるところでございます。ですから、これから2年後ということでもあります。今までの取り組みというものをさらに充実させていながら、今回のバーチャル開催、これをホップステップジャンプのジャンプにつなげていくための期間、そしてまた素晴らしい、もう一回のチャンスをお願いしたいと、こういった形の中で、しっかりと成し遂げていけるよう努力していきたいと、このように考えているところでございます。実行委員会にてですね、知事からのご提案、最速2023年、このリアル開催に向けて進むことを心から期待しております。

- ・ 以上です。

#### (道／山崎観光振興監)

- ・ 蝦名様、ありがとうございました。
- ・ そのほか、委員の皆様、いかがでございませうか。荒井様。

#### (北海道アドベンチャートラベル協議会／荒井会長)

- ・ 北海道アドベンチャートラベル協議会の会長、荒井一洋と申します。普段は運輸局の担当がさせてもらっています。私、実は初めて参加しました。いつもお世話になっております。
- ・ 今回の再招致に関しては、私普段ガイドをしておりますが、ガイドの立場からすると本当にありがたい話で、実はエクスカッションがガイドの力の見せ所、それが今回オンラインで本当に残念なのですが、その後にチャンスをいただける、というのはありがたい、というのが一つ。
- ・ もう一つが、サスティナブルツーリズムの枠組みで観光庁が非常に動いておまして、その研修を今回ニセコと小樽と弟子屈町で、サスティナブルツーリズムの3日間の研修、国際認定の終了証がもらえる、というものでして、それを開催するために、今年、来年と本当に皆で頑張っ準備して、この3つの自治体プラスアルファでどんどん広げていって、そういった準備を踏まえて、2年後にATWSでお客さんが来る、というそんなステップをいただけることができるというのは、本当にありがたいことなので、是非とも賛成というか、お願いをしたいと思えます。以上です。

#### (道／山崎観光振興監)

- ・ 荒井様、ありがとうございました。
- ・ そのほか、いかがでございませうか。よろしいでしょうか。
- ・ それでは、議事の1～3につきまして、ご承認いただけますでしょうか。

#### 【反対意見なし】

- ・ 異議なしと認め、サミットの再招致に向けた立候補の表明も含め、全会一致でのご承認とさせていただきます。
- ・ それでは最後に、会長である鈴木知事から一言お願いいたします。

#### (道／鈴木知事)

- ・ 本日はお忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。また、札幌の秋元市長、釧路の蝦名市長、そして協議会の荒井さんからも大変心強い、再招致に向けての言葉をいただきました。本当にありがとうございます。

- やはり、この、アジア初の開催、またバーチャル開催もコロナ禍で初めての取組ということで、アジアの中で、この北海道でアドベンチャートラベル・ワールドサミットが今月開催できる、このことも大変、皆さんのお力添えで、大変有難いということはあるのですが、やはりリアルでの開催、北海道に直接来ていただく、皆様と練り上げたツーリズムを体験していただく、このことが私は必要だと思っています。
- 今、まだ前のことは決まっていますが、最速で2023年、これを目指して、アドベンチャートラベル・ワールドサミットの再招致、この実現に向けて、皆さんとともに、全力で取り組んでいきたいと思っています。今回、実行委員会としても正式に立候補を表明する、このことについて全会一致でご承認いただいたことに感謝を申し上げます。
- 本日の立候補表明を通じて、関係する皆様と、まず20日から開催されますサミット、こちらに更に機運を高めていく、このこととともに、サミットに参加をしていただきます企業の皆様、団体の皆様におかれては、リアル開催、2023年の再招致、そういったものを見据えたPR、こういったものに繋げていくなど、まずはこのアドベンチャートラベル・ワールドサミット、アジア初の開催、2021、これを成功させていく。このために、実行委員会の皆様としっかり取り組んでいきたいと考えております。
- 様々、今日の決定を踏まえて、やらなければならないことがいっぱい出てきます。また皆さんに引き続きお力添えいただければと思います。本当にありがとうございます。よろしく願い申し上げます。

#### (道／山崎観光振興監)

- これにて本日の総会は終了させていただきます
- 本日はお忙しいところ、ご参加いただき誠にありがとうございました。

(了)